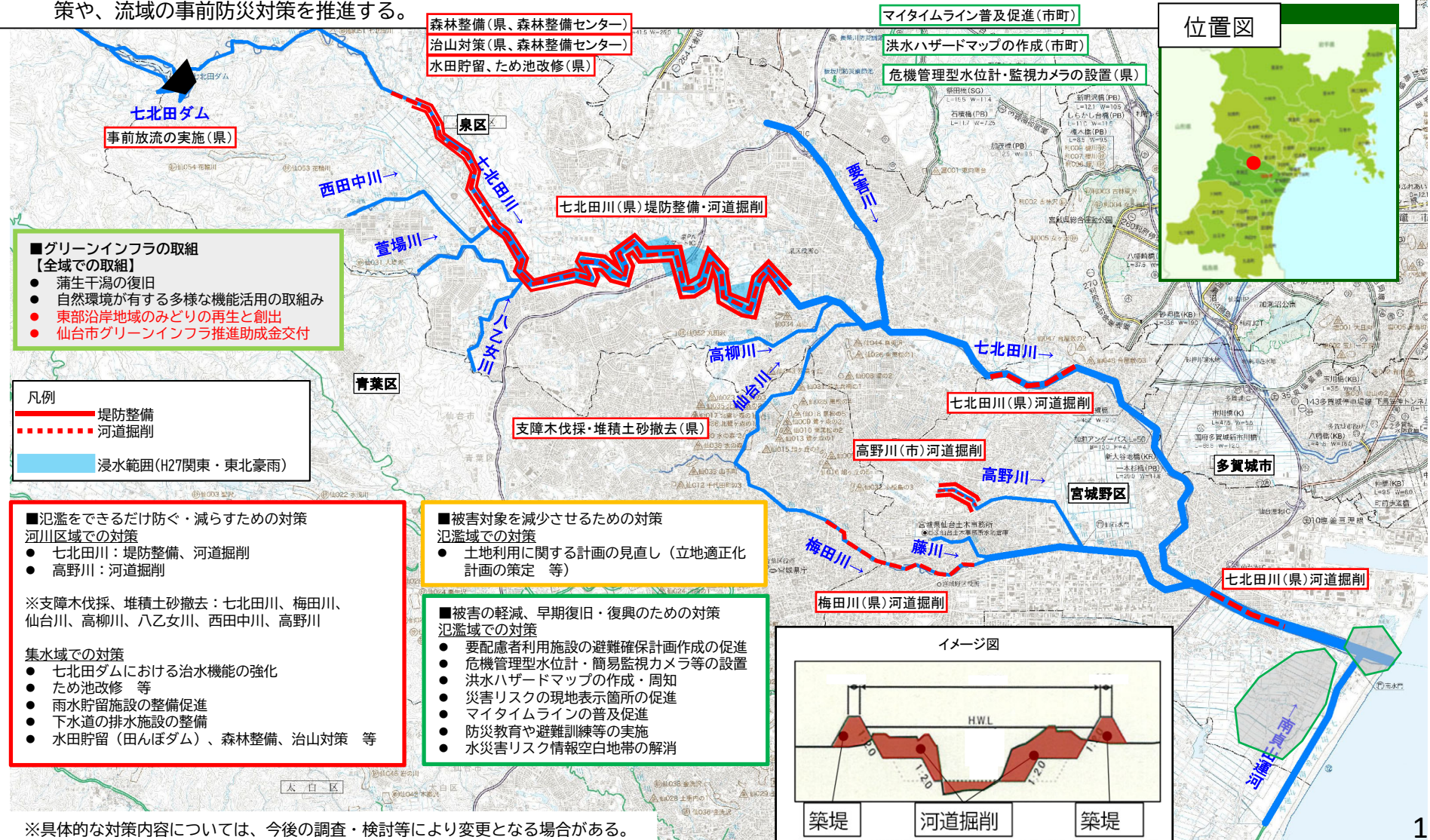


●グリーンインフラの取り組み 『蒲生干潟の保全及びみどりの再生と創出』

- 七北田川下流域（河口～赤生津大橋）において、昭和23年9月（戦後最大）洪水などの既往最大規模と同規模の水災害による被害を軽減するため、流域の関係者による治水対策や、流域の事前防災対策を推進する。
- 七北田川上流域（赤生津大橋～冠橋）において、平成27年関東・東北豪雨と同規模の水災害による被害を軽減するため、流域の関係者による治水対策や、流域の事前防災対策を推進する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 七北田川水系では、各河川の上流・支川の流域における地域特性を踏まえ、県・市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 近年洪水における溢水箇所の再度災害を防止するため、主に七北田川で堤防整備、河道掘削を実施。
 - 【中期】 流域河川の河道状況を把握し、堆積土砂撤去・支障木伐採などを計画的に実施する。
 - 【中長期】 七北田川における河川改修を上流部に延伸し、流域全体の治水安全度の向上を図る。
- あわせて、流域市町が進めるまちづくりとの調整を図りつつ、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水浸透貯留施設の新設等）や市街化の進展に伴う雨水流出量の増大を抑制する雨水貯留浸透施設整備の推進などの流域における対策、ハザードマップや河川水位等の情報発信などソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	宮城県 仙台市	→		
	堆積土砂撤去・支障木伐採	宮城県	→	河道内の状況より順次実施	
	雨水貯留施設の整備 ため池改修、水田貯留	流域市町	→		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	→		
被害対象を減少させるための対策	適正な土地利用への誘導	流域市町	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	宮城県	→		
	避難体制等の強化 洪水ハザードマップの作成・周知	流域市町	→		
グリーンインフラの取組み	生物の多様な生息環境の保全	宮城県	→		
	みどりの再生と創出	流域市町	→		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	→		